

イエス様がこの世に来られたときに、
多くの人たちはそのことを知らないで暮らしていました。
現代の人々も、クリスマスという名前を使いながら、
その意味も内容も知らないままで過ごしていないでしょうか？
あなたは救い主を心にお迎えになりましたか？

『その名はイエス、…民をその罪より救^{つみ}いたもうゆえなり。』

— 聖書 —



聖書のこと、神さまのことを、
もっとくわしく知りたい方は、
ご連絡ください。

☆:石黒イサク



🌿 **なぜ？ メリークリスマス！** 🌿

私たちの国でも恒例行事として定着したクリスマスは、
ますますきらびやかになり、
多くの人たちが、クリスマスツリーを飾ったり、
イルミネーションを見物したり、
軽快な音楽を聴いて、そのムードを楽しんでいます。
クリスマスとは何の日でしょう？

クリスマスとは何の日でしょう？

“サンタクロースにプレゼントもらう日”、“恋人と過ごす日”、“家族パーティーをする日” などという答えでしょうか？

あなたにとって、クリスマスの楽しみは何ですか？ パーティー？ ごちそう？ それともクリスマス・プレゼントですか？

最近では、サンタクロースが主役のようになっていますが、クリスマスの本来の目的と意味とをご存じでしょうか？

クリスマスとは、“キリスト祭り”という意味です。天地萬物をお造りになった真の神様は、今から約2000年前に約束どおり、救い主をこの世界に住む私たちに与えてくださいました。

12月25日はイエス様の誕生日ではなくて、神の御子が救い主として、天から降りて来られ、お生まれになったことをお祝いする日なのです。

最初のクリスマスは「天には栄光神にあれ、地には平和、人には恵みあれ」という天使たちの大合唱によって、スタートしました。

クリスマスの主役は、ベツレヘムでお生まれになったイエス様ですが、メリー・クリスマスとは、“イエス様、誕生日おめでとう” ではありません。救い主は、神様に従わないで自分中心に生きている、私たち＝罪人を救うために、身代わりとなって十字架で死ぬために、この世に来てくださったのです。私たちの罪が赦され、罪の呪いとその悲惨な結末から、救われる方法はイエス様の十字架以外にありません。自分の罪を認め、イエス様を心にお迎えする人は、誰でもこの救いを受けることができるのです。

『神はその獨子を賜うほどに、世を愛し給えり。すべて彼（主イエス様）を信する者の亡びずして、永遠の生命を得んためなり。』（ヨハネ 3:16）
これは聖書のなかで最も有名なことばです。

“クリスマスおめでとう！ 世界の創造主は愛の神様です。救い主をわざわざ送ってくださるほど、あなたは神様に愛されています。” ということを感じ、その喜びを分かちあうときが、クリスマスなのです。だから世界中どこでも、お互いに“メリー・クリスマス” という挨拶を交わすのです。